

むらたまち

# 議会だより



楽しい学校生活が始まりました(村田第二小学校入学式)

- 令和5年度当初予算 … 2
- 予算審査特別委員会 … 6
- 3月定例会議案審議 … 7
- ズバリ!町政を問う【一般質問 2人】 … 11
- 常任委員会レポート … 14 他

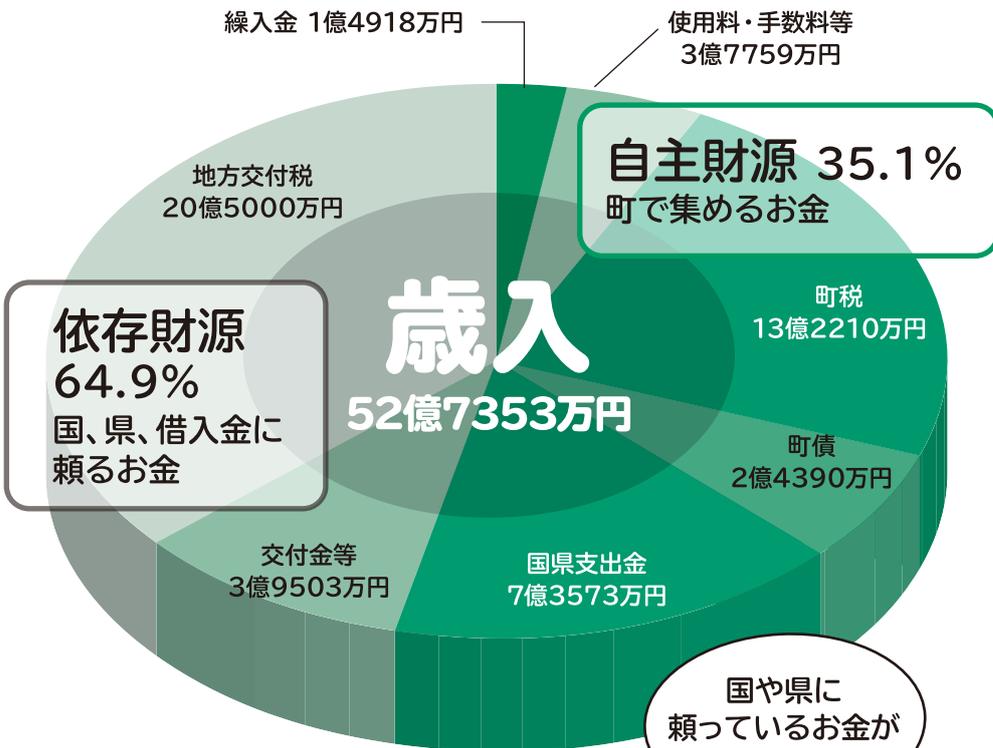
Vol. 134  
2023.5.1.

# 現への投資と 財政健全化の成果を

全会一致で

可決

令和5年度各種会計予算案について、特別委員会を設置して予算審査を行い、一般会計及び、特別会計と企業会計は採決の結果、全会一致で可決されました。その結果、特別会計と企業会計を含めた総額予算は92億4556万円となりました。



国や県に頼っているお金が多いね

ふるさと納税  
による歳入確保  
1億5000万円



これなら  
自主財源が  
増やせるね



ポイント

自主財源の比率が高いほど自主的な財政運営ができることとなります。村田町の自主財源は前年度より2.5%増となっています。

## 財政健全化計画

令和7年度までに財政調整基金  
3.5億円以上積み立てる目標。  
現在4.3億円。  
(令和5年3月当時の見込み額)



# 令和5年度 予算

# 明るい未来実現 実感できる

総額92億4556万円(特別会計・企業会計含む)

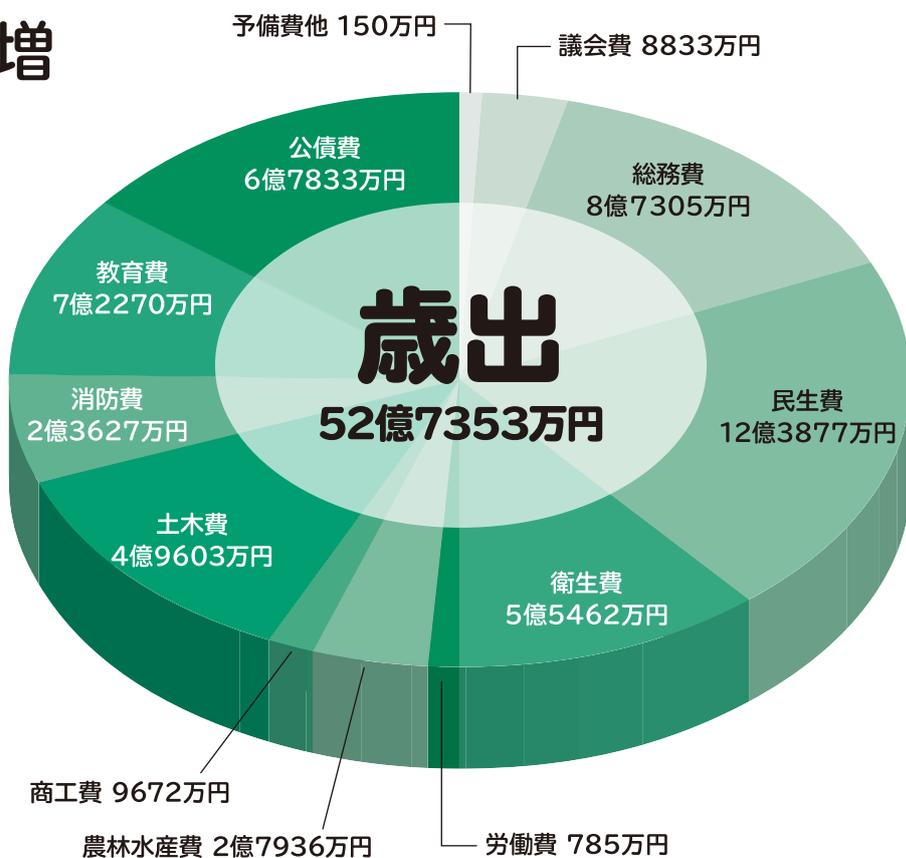
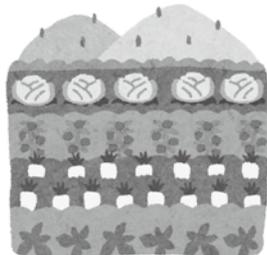
## 一般会計52億7353万円

前年度比3.1%増

### まちづくりの将来ビジョン

- ・都市計画マスタープラン及び用途地域の見直し
- ・農業振興地域整備計画の見直し

見直し業務に予算計上  
1789万円



### 令和5年度会計別当初予算

会計名		令和5年度	対前年度増減額
一般会計		52億7353万円	1億5672万円 増
特別会計	国民健康保険事業	12億9688万円	▲444万円 減
	後期高齢者医療	1億3532万円	377万円 増
	介護保険事業	12億8950万円	892万円 増
	宅地造成事業	1100万円	▲3010万円 減
企業会計	上水道事業	5億5297万円	▲1756万円 減
	下水道事業	6億7450万円	4265万円 増
	工業用水道事業	1186万円	80万円 増
合計		92億4556万円	1億6076万円 増



# 総括質疑

新年度は、第5次総合計画の前期の折り返し年度である。財政健全化計画を図りながら各種の施策に取り組み予算とした。一般会計当初予算案の規模は、52億7353万8千円。率で3・1%増となった。令和5年度の当初予算案に対し大局的な観点から総括質疑を行う。

## 財政について

### 質問1

予算編成過程において義務的経費と投資的経費について予算要求の基準はどう設定したのか。また、歳入と歳出の予算不足額はいくら生じたのか。

### 財政課長答弁

財政の健全化や持続可能な財政運営を念頭に予算編成の指示をした。

要求基準は、令和3年度決算をベースに令和4年度予算額を上限に要求する予算編成をした。

また、新規事業に擁する経費の増で約1億5千万円の財源不足が生じ、財政調整基金繰入金などにより予算措置した。

### 質問2

財政調整基金の令和4年度末の残高は、どう見通しているのか。

### 財政課長答弁

令和5年度当初予算案において財源不足が生じることから、現時点の年度末の現在高は3億3171万円となる見込み。

### 質問3

日銀が政策金利を修正した影響で地方債の表面金利が上昇する懸念がある。財政負担増をどう捉えているのか。

### 財政課長答弁

町債の貸付金利が上昇傾向にあり、財政運営に影響が出ると見込んでいる。健全な財政運営に努めていく。

### 質問4

財政健全化計画の柱にふるさと納税と町有地の処分を掲げているが、寄附金の確保はどう見通しているのか。

### 財政課長答弁

令和4年度のふるさと納税寄附額は2月末現在で、前年度比で8千600万円の減、率で30・2%の減となった。令和5年度は、返礼品の開発や一部見直しを行い情報発信に努めていく。

### 質問5

四小跡地の売却や菅生スマーティンター開通は地域経済の波及効果が期待される。農業振興地域と用途地域の見直しは市場調査を実施して行うのか。

### 農林課長答弁

農業振興地域の見直しは、農用地面積、土地利用及び農業就農人口、農業生産の基盤、保全、収納状況などの調査を行い、その分析結果に基づいて行う。

## マイナンバーカード交付について



厚労省のマイナンバーカード案内パンフレット

### 質問1

全国的にマイナンバーカードの申請が伸びていないが、本町のカード交付率は何%に達したのか。

### 町民生活課長答弁

令和5年2月末現在、交付枚数は7171枚で、交付率は68・9%で全国平均の交付率63・5%を上回っている。

### 質問2

マイナンバーカードを使用したサービス提供のシステム改修や予算措置はどう計画されているのか。

### 町民生活課長答弁

2月からオンラインで転出の届け出、転入の予約が可能となった。また、4月から行政手続きのオンライン化として、子育て、介護に係る手続きも運用を開始する。予算措置は、国庫補助の対象事業で取り組んでいる。

## コロナ対策について

### 質問

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを5類へ5月8日に引き下げる。マスク着用の判断は個人に委ね3月13日から適用されるが、マスク着用に関し感染予防の周知や教育の実施はどう対応するのか。

### 総務課長答弁

マスクの着用や感染症法上の位置付け以外の項目については、現在も国において検討されている状況である。行政組織としての対策・体制については、可能な限りの情報収集に努め、村田町新型コロナウイルス感染症対策本部において協議し、方向性を導く予定としている。

### 教育総務課長答弁

文部科学省より「卒業式におけるマスクの取扱いに関する基本的な考え方」について通知が出されており、マスク着用の有無による差別・偏見がないよう指導する。4月1日以降の新学期は、マスク着用を求めないことを基本として取り組んでいく。



「広報むらた」のワクチン接種案内



# 令和5年度 一般会計予算

令和5年度 村田町一般会計予算の審議にあたり、全般的、大局的な観点から総括質疑を行う。

## 財政健全化計画について

### 質問1

令和4年度の決算見込みを踏まえた、財政健全化計画の進捗状況は。

### 財政課長答弁

令和5年度当初予算を踏まえた年度末の財政調整基金の現在は3億3171万円となる見込みであり、年々頻発する災害への備えや、少子高齢化・人口減少、物価高騰対策などに着実に取り組むため、引き続き健全化に向けた財政運営が図られるように努める。

### 質問2

令和4年度末の財政健全化の進捗状況の見込みを令和5年度予算にどのように反映したのか。

### 財政課長答弁

令和5年度を「財政健全化に向けた歩みを止めることなく、明るく未来の実現に向けた投資を行う年度」と位置付け、財政健全化の成果を、町民の皆さまの暮らしに欠かせないタイムリ

ーな施策及び本町の振興発展に資する事業に反映する。

## 子育て支援・教育環境の充実について

### 質問

令和5年度当初予算における子育て支援・教育環境の充実に関する新規事業導入に至る背景と目的は。

### 子育て支援課長答弁

村田町を子育ての地として選んでいただいたことへの感謝の念を込め、エネルギー・食品などの物価高騰に直面している子育て世帯の家計への影響を軽減するもので、安心して子どもを産み育てられる環境を整える。

## 防災・減災について

### 質問1

沼辺地区公民館の耐震化・大規模改修事業の実施に向け、地域の方々への事業内容の説明や意見の調整などに関するかがわかりかたについて伺う。

### 生涯学習課長答弁

本事業を実施するにあたり、地域の声をしっかりと聴き、対話を重ねて事業推進を図る。



沼辺地区公民館

### 質問2

沼辺地区公民館以外の指定避難所の耐震化・大規模改修に関する考え方・見通しは。

### 総務課長答弁

沼辺地区公民館は沼辺支所としての行政機能、学びの活動及び人と人を結ぶコミュニティー活動の拠点、災害発生時の指定避難所である。公共施設の地震に対する備えも急務となっている。沼辺地区公民館以外の地区公民館、村田町民体育館などについても、年次計画により、継続的な取り組みを推進する。

農業振興地域整備計画・都市計画マスタープラン及び用途地域の見直しについて

### 質問

計画策定や計画決定から相当の年数が経過しているが、今回の見直しに関する基本となる方針や方向性、考え方は。

### 建設水道課長答弁

農業の健全な発展を目指す整備とともに、「志賀姥ヶ懐トンネル」や「菅生スマートインターチェンジ」の開通による交通量の増、「小池石生線」の整備などにより、さらなる交通環境などの変化が予測され、これらの状況を踏まえ、土地利用形態を総合的に鑑み、将来に向けた動向を見定めながら行う。



菅生スマートインターチェンジ

令和5年度

# 予算審査特別委員会

令和5年度の各種会計予算案審議にあたり本会議から予算審査特別委員会に、その審査が付託されました。その後、委員長に鈴木宏議員を選出し3月7日から13日までの7日間にわたり慎重に審議し、予算関連の現地調査も実施しました。委員会採択の結果、いずれの予算も原案のとおり可決すべきものと決定されました。



審査結果を報告する鈴木宏特別委員会委員長

## 第2回定例会議案審議

### 質疑応答

(抜粋)

**問** 谷山温泉の経営状況と今後の再建に向けた動向は。

**答** 営業は中止している。法的な手続き関係は任意整理のためにストップしている状況である。



営業中止の谷山温泉

**問** 企業版ふるさと納税を見込んでいるのか。また、アプローチする予定があるか。

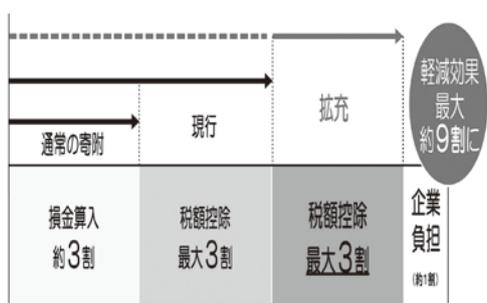
**答** 企業版ふるさと納税は重要なものと認識し、PR活動を進める。

**問** 国が推進する自治体デジタルトランスフォーメーションの業務システムについて、令和7年度にガバメントクラウドを利用したシステムに移行していくのか。

**答** 今後、町としてどのようなシステムが効率良く経済的になるか、また、住民が利便性を持つシステムについて、方向性を出して検討する。

**問** 新規事業のタクシー利用助成金の内容は。

**答** 大河原町のみやぎ県南中核病院の診療時に登録されたタクシー会社を利用したものに對し、運賃の半額、2500円を上限に助成する。



(例) 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税(法人住民税、法人事業税、法人税)が軽減  
※ 令和2年4月1日以後に開始する法人の事業年度から適用

**問** 総務費の備品購入費1020万円の中身は何か。

**答** 宮城環境提案型事業として実施し、公用車として購入するPHEVの電気自動車2台分である。



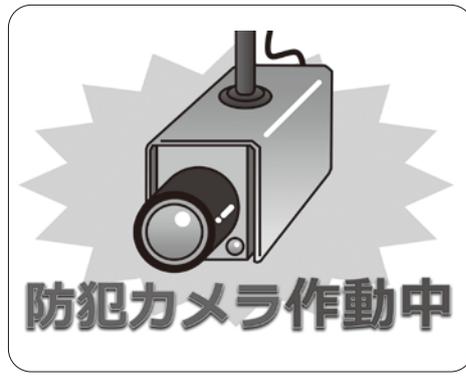
電気自動車

**問** 柴田斎苑負担金は、前年度に比べ150万円増えている理由は何か。

**答** 柴田斎苑の起債償還が始まったということ、仙南地域広域行政事務組合への負担金である。

**問** 町で防犯カメラは何台設置しているのか。安全に生活するには防犯カメラの設置が必要ではないか。

**答** 防犯カメラは保育所・幼稚園などに設置している。公共施設に必要なので継続的に検討していく。



**問** 高齢者支援として、老老介護や認知症への切れない支援を実現できる体制の強化はどうしているのか。

**答** 行政区長、民生委員、地域の方々と連携を図りながら、不審な行動があった際に町に情報を流していただき、担当者が訪問調査を行う。

**問** 令和5年度の企業誘致の在り方の考えを伺う。

**答** 土地利用計画の状況を判断し、企業用地として施策のエリアを網羅し、企業セミナーや有名な企業を訪問し、PRしていきたいと考えている。



工場団地

**問** 特産作物生産支援で地域の学生にかかわってもらう取り組みの必要があるのでは。

**答** 学生にかかわってもらうことも参考にさせていただく。

**問** ソラマメやとうもろこしの特産作物出荷販売奨励事業の内容は。

**答** 村田町全体の出荷額、出荷販売量を増やす目的なので、事前に登録し出荷がわかる書類で補助金を交付する。

**問** 沼田関場のほ場整備進捗はどうなっているのか。また、他の地域へのアプローチや支援をどうしていくのか。

**答** 令和5年度は促進計画、計画概要案の作成を予定している。ほ場整備の進捗にかかわらず、地区の合意形成を図る。

**問** 幼稚園活動の延長について、詳しく説明してほしい。

**答** 5歳児を対象に月曜日から金曜日の午後2時から3時間に英語2回とリズムダンス1回、あとは通常の遊びを行う。



村田幼稚園

**問** 学校教育の在り方について、どう進めていくのか。

**答** 再度町と意見を交換しながら令和5年度中には確実に方向性を示していきたい。

**問** 村田町の学力調査でどのくらいの順位になっているのか。

**答** 今年度については、若干全国平均より下回っている。

**問** スクールバスについて、事件や事故が多く心配である。今回取り付ける警報装置システムの内容は。

**答** 警報装置の中に赤外線センサーがあり、エンジンを切った後に中で何かが動いたら警報のサインが出る。



スクールバス

**問** 都市計画マスタープラン策定は、村田町の在り方の方向性を作る大切なプランである。内容はどのようなものか。

**答** 都市計画策定からかなり年数が経っている。岩沼蔵王線のトンネル、菅生スマートインターチェンジ開通などで当時から変わっている。有効な土地利用を生かした形で策定する。

**問** 町民体育館の管理委託料の増分180万円は光熱費の高騰に伴った値上げという説明があった。議会で議決したものが、今回議会の議決を経なくてもできた経緯は。

**答** 契約の中で管理委託料の変更については、指定期間中に、物価水準の変動などにより協議を行い変更できるとなっており、光熱費高騰分に係る経費は妥当と判断した。



町民体育館

**問** 宅地造成事業については、造成工事がいつ完了し、販売区画・販売開始はいつか。

**答** 現在、石生地区内において、第2期工事中で、秋前には工事が終わる予定である。区画については7区画を見込んでおり、年内に2区画ぐらいの販売を見込んでいます。



石生地区の宅地造成

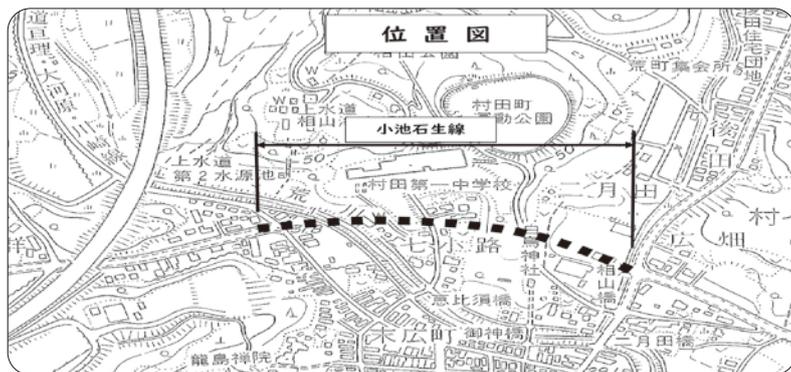
**問** 下水道管の老朽化が進み、大規模な改修が必要になると思われる。今後の対応は。

**答** 長寿命化計画にのっとり、ストックマネージメント事業を導入し、できる限り一般会計の繰出金を抑え、施設の修繕を行う。

## 予算審査特別委員会による現地調査

予算審査特別委員会最終日の3月13日に現地調査を行いました。

今回、小池石生線の工事状況について、調査しました。



小池石生線の位置図



村田一中から見た工事状況



調査している様子

## 令和5年度 予算審査特別委員会意見

本議会において、予算審査特別委員長より町執行部に対して、次の委員会意見を提出しました。

1. ふるさと納税について、返礼品取扱い事業者との連携強化を図りながら、有効的な広報等の情報発信に努めること。また、企業版ふるさと納税の収入確保のため、企業に対し、さらなるPR活動に取り組むこと。
2. 土地利用の有効活用と町の将来に向けた動向を見定めながら検討すること。
  - ①都市計画マスタープラン及び用途地域の見直しについて
  - ②農業振興地域整備計画の見直しについて
3. 学校教育環境等のあり方の基本方針にある、今後の町内小中学校の配置計画について、保護者や地域住民の声を聴き、早期に統合の時期や施設等の方針を決定するよう努めること。

# 一般会計補正予算追加

## おもな事業

令和5年度第2回定例会は、3月3日から15日までの13日間にわたり開催されました。この定例会では条例の制定2件、条例の一部改正9件、補正予算7件、5年度各種会計予算8件、財産の処分1件、諮問1件、報告1件が提案されました。また、一般質問は2人の議員が町の考えや対応について質しました。

### 健康福祉課 予防費

## 令和5年度新型コロナワクチン 接種事業



9368  
万円

■議案第1号 令和4年度一般会計補正予算(第8号)  
予算の総額に歳入歳出それぞれ525万円を追加するもの

【全会一致原案可決】

議会臨時会は1月11日の1日間開催されました。

令和5年第1回  
臨時会

### 財政課 財産収入

旧村田第四小学校跡地の利活用を図るため、町有財産の売買契約を締結し、敷地内に宿泊サービス施設を建設するもの



土地売払金額  
2000万円

A

町として防災的観点から今後蔵王リース様と災害などの協定の協議を進めていく。

Q

菅生地区の住民説明会のおり蔵王リース様より災害などが発生した場合、ホテルを避難場所としての利用を最大限に行っていくとのことをお話をされました。今後、町としてどのように進めていくのか。

A

まず、税収は固定資産税・水道・下水道使用料として年間約1000万円程度の収入が見込まれると推測している。また、村田町民を優先的に雇用していくこと。

Q

旧村田第四小学校跡地の売払にかかる土地の鑑定額が1億2500万円で、解体費用が1億500万円(蔵王リース)で売買契約金額が2000万円となることだが、新しいホテルが進出することによる経済的効果は。

■議案第26号 財産の処分について

令和5年第2回定例会  
質疑応答

(抜粋)

# 令和5年第2回 定例会の議案と採決結果

議案名	採決結果
<b>条例（制定・一部改正）</b>	
■議案第2号 村田町個人情報保護法施行条例の制定について 法律の改正に伴い、新たな個人情報保護法に移行するため条例を制定するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第3号 村田町個人情報保護審査会条例の制定について 個人情報保護制度の適正かつ公正な運営を確保するため条例を制定するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第4号 個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例 法律の一部改正に伴い、情報公開条例等の一部を改正するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第5号 職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例 地方公務員法の一部を改正する法律の公布に伴い改正するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第6号 地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例 地方公務員法の改正に伴い関係条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第7号 村田町児童遊園設置条例の一部を改正する条例 財産の処分等に伴い、児童遊園の名称及び位置の一部を改正するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第8号 村田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 国の条例改正に伴い条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第9号 村田町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例 国の条例改正に伴い条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第10号 村田町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 国の条例改正に伴い条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第11号 村田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 国の条例改正に伴い条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第12号 村田町国民健康保険条例の一部を改正する条例 健康保険法施行令の規定に基づく条例の一部を改正するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
<b>補正予算</b>	
■議案第13号 令和4年度村田町一般会計補正予算（第9号） 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ4740万円を減額するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第14号 令和4年度村田町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ30万円を追加するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第15号 令和4年度村田町介護保険事業特別会計補正予算（第3号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ612万円を追加するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第16号 令和4年度村田町宅地造成事業特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ168万円を追加するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第17号 令和4年度村田町下水道事業会計補正予算（第3号） 予算の収益的収入及び支出、また資本的収入の予定額を補正するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第27号 令和4年度村田町一般会計補正予算（第10号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ545万円を追加するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
■議案第28号 令和5年度村田町一般会計補正予算（第1号） 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9368万円を追加するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
<b>財産の処分</b>	
■議案第26号 財産の処分について 売払地及び面積 村田町大字菅生字宮 22番1 宅地 17,123.07㎡ 売払金額 一金 20,000,000円也 売払の相手方 名取市ゆりが丘二丁目 25番1 蔵王リース株式会社 代表取締役 平間 宏樹	原案可決 賛成 10：反対 0
<b>諮問</b>	
■諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について 氏名 星 昌人（大字村田）	適任 賛成 10：反対 0
<b>議発案</b>	
■議発案第1号 村田町議会の個人情報の保護に関する条例 議会における個人情報の適正な取扱いに関し、新たな条例を制定するもの	原案可決 賛成 10：反対 0
<b>報告</b>	
■報告第1号 令和5年度一般財団法人村田町ふるさとリフレッシュセンター事業計画について	-

3月議会一般質問

ズバリ!

町政を問う



● 山家 大議員 (12ページ)

1. 快適な学校トイレの整備を

● 菊地 睦夫議員 (13ページ)

1. 「老老介護疲れ」問題を解決するために全町民による真心の声かけを

一般質問とは?

一般質問とは、議員が町長や教育長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて、所信や疑問を質すこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

# 学校トイレ洋式化で 教育・衛生・防災の 向上を



山家 大 議員

## 学校トイレの洋式化推進を

### 質問1

町内小中学校のトイレ環境をどう捉えているか。

### 教育長答弁

洋式トイレへのニーズが増えていることから計画的に整備を進め、各校3分の1程度を洋式化したが、まだ充実していないと認識している。今後旧式のトイレ様式に対するイメージの払拭のため「換気扇による悪臭の消失」「トイレ清掃の徹底」を図り、照明機器の増設も検討する。

### 追質問

計画的な整備とのことだが現在の進捗状況は。

### 教育総務課長答弁

各校各階男女一基を目標として進め、すでに完了している。

### 追質問

洋式化の費用は。

### 教育総務課長答弁

場所によるが一基あたり大体70万円から100万円。

### 追質問

旧式トイレのイメージ払拭よりも洋式化をすべきと考えるが見解は。

### 教育総務課長答弁

すぐに取り組めることを実行し、洋式化は調整を図りながら進めていきたい。



3基のうち1基が洋式化した二小トイレ

### 追質問

保護者からも快適なトイレをとの要望がある。行政でしか出来ない事業は実行すべきと考えるがいかがか。

### 町長答弁

将来も見据え総合的に計画しているが、優先順位自体も考えながら今後検討したい。

## 避難所でも 快適なトイレに

### 質問2

学校トイレは避難所のトイレとしても機能する。この観点からのトイレ整備についてどう考えるか。

### 教育長答弁

避難所はまず公民館に開設され、次に学校施設などに拡大するが、そこまでの規模の災害の場合、下水道も被害を受け学校トイレ自体が使用不可となり、仮設トイレでの対応になると想定している。

←近年では避難所を見越しバリアフリートイレの学校も



←村田第二小学校は浄化槽なので下水道が被害を受けても使えるのではないかと。





菊地睦夫 議員

# 「老老介護疲れ」問題を 解決するために全町民に よる真心の声がけを

## 質問

最近、「老老介護」の問題が全国的に深刻化しています。本町でも今年1月に介護に疲れての痛ましい事件がありました。事件になる前に何とか救うことが出来なかったのかと考えさせられます。この事は他人事ではなく私たちがいざれ遭遇する課題だと思えます。今後高齢化が進み「老老介護」が増加していきませんが、一人で悩んでいる人も近所の方からの温かい声かけによって「自分のことを思ってくれる人がいる」と感じれば解決の一步となり得ます。



## 町長答弁

本町における老老介護の世帯数は令和4年3月末日の住民基本台帳より65歳以上の高齢者世帯は575世帯となっており、本年1月に実施した「在宅介護実態把握調査」より60代以上が74・7%の内75歳以上の介護者が「75歳以上の介護」をしている「超老老介護」は2割を超えています。

また、今回のような事態に町として非常に残念な結果となり再発防止・未然防止に向け、行政区長や民生委員、医療機関や社会福祉協議会、警察などの関係機関と外部の有識者からなる検討会議を2月20日に開催をし、意見提案は今月中に取りまとめ順次計画的に実施する予定です。

## 追質問

河北新報の記事によると家族が要介護認定の申請に訪れてから事件の起きる3カ月間に再度申請に来るようになるとか、民生員の方に訪問をして状況の把握とかはしたのか。

## 健康福祉課長答弁

今回の相談は一般的な介護申請手続きと捉え電話や訪問による状況確認はしませんでした。

## 追質問

最近見た新聞の記事の中に「誰でもいい、そばにいてあげることです。一緒にいて、話を聞いてあげる。一言でも励ましてあげる。それによって苦しんでいる心に「バツ」と「生」の火がともる。「自分のことを思ってくれる人がいる」その手応えが、苦悩の人の生命空間をすっと広げてくれるのです。」とありました。だからこそ大事なことは近所の住民の皆さんからの挨拶や日常会話の中で「自分のことを思ってくれる人がいる」「独りではないんだ」と、その事が町民の皆さんによる「みまもりたい」になり、

悲劇の再発を防ぎ地域の見守る力を借りながら当事者に積極的に働きかけるサポートの強化となると思いますがいかがか。

## 町長答弁

今回の事件は痛ましい事件だと思えます。

村田町の「超老老介護」世帯は8分の1を超えている状況です。

体力的に大変な状況で介護をし、精神的に追い詰められている方もいます。地域ぐるみでこの問題に取り組み、行政でできる事や、地域の人たちの気配りや目配りが大切だと思います。そのことが、誰かと一緒にいると心が安らぐとのことでもあるので、今後は社会福祉協議会の活動を通して行政区長や民生員の力を借りて対応を進めてまいります。



©KOMETO

# レポート

町民の知る権利を尊重し  
公文書の開示を請求する権利を明らかにし、町民の町政に対する理解と信頼を深め、公正で開かれた町政の発展に寄与することを目的としている。

町の実施機関が保有する個人情報の開示を求める個人の権利を明らかにし、町政の適正な運営を図り、個人の権利を保護することを目的としている。

町が発行している広報紙は、施策や話題などを提供することを目的に発行している。その他、町公式ホームページ、フェイスブック、メール配信、LINE公式アカウントなどで災害や防犯、コロナ感染、子育てなどの情報配信をしている。

本町の情報公開・個人情報保護の取り扱いは、規定に基づき厳格に運用されている。自治体が保有する公文書などの情報公開請求者については、一部の自治体間で請求権者の制限範囲にばらつきがある。本町では、開示請求から開示までの事務処理で大きな支障は出ていないが、知る権利の尊重と公正で開かれた町政の発展に寄与する制度の目的から制限範囲の統一が図られるよう検討願いたい。また、情報の流出や漏洩が発生しないよう厳格な管理を望みたい。



農業委員会は、農業委員会法に基づく業務を担い、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等を進め地域農業の振興を図っている。

- ・農地の権利移動の許可や転用許可への意見具申
- ・農地利用最適化施策に関する関係行政機関への意見の決定
- ・農地パトロールや農業者へ農地の利用意向調査など

- ・担い手への農地集積や遊休農地の発生防止・解消
- ・新規参入の促進など農地法の概要について

農地法は、農業の基盤である農地の所有や利用権関係の仕組みを決めた基本的な法律で、食料の安定供給の確保を図ることを目的としている。



令和4年度の農地利用状況調査(年一回実施)結果を見ると、遊休農地や違反転用を調査した189筆の55%が「遊休地」、48.1%は「その他(非農地化)」の復元不可能な農地、36.5%は町外や施設入居などで回答不可、「農地中間管理事業利用」は約10%で、耕作者の高齢化や担い手不足で遊休地のおそれがある農地となっている。  
優良農地の確保は、食料を安定的に生産供給するための農業を営む上で、必要な生産基盤であることを考えると、遊休農地の解消に向けて、農地利用の最適化の推進を強く望みたい。



遊休地(田)

# 常任委員会

## 教育民生常任委員会

### 生活環境・環境衛生行政について(2月9日実施)

#### ◆生活環境行政

- ① 一般廃棄物処理事業  
可燃ごみは仙南クリーンセンターで焼却、その他ごみは仙南リサイクルセンターで処理。
- ② ごみ処理費  
処理費の約半分は収集運搬委託料である。
- ③ 小型家電と紙資源  
リサイクル目的で売却。小型家電は令和5年度から売却単価が0になる。紙資源も売却単価が下がっている。
- ④ し尿処理  
収集運搬の取り扱いが委託制から許可制になった。

#### ◆環境衛生行政

- ① 環境衛生事業  
環境美化啓発活動  
害虫駆除機や薬剤の貸出  
不法投棄パトロールなど
- ② 狂犬病予防業務
- ③ 動物などの死骸回収
- ④ 放射能対策  
公共・教育施設や農作物・給食食材の簡易測定。基準値を超えるものはない。
- ⑤ 竹の内地区産業廃棄物最

#### 終処分場対策

対策関連会議や調査結果の配布などを行っている。

#### ⑥ 再生可能エネルギー

事業者の住民に対する説明会の義務付けなどを行っている。



#### ○委員会所見

集積所への不法投棄や不適正排出への対策を引き続き行い、住民モラル向上への取り組みも実施願う。

ごみ処理費節減としてコンポストやデイスポージャーも検討してはどうか。

ごみ収集業務における安全面にも留意いただきたい。

竹の内地区産業廃棄物最終処分場での調査結果に変化がある場合は議会への報告を求む。今後は跡地利用に向けた議論を。

再生可能エネルギーも今後問題が発生する可能性はあるので、リスクを把握し対応いただきたい。

## 全国・宮城県・仙南地方町村議会議長会 自治功労者表彰

町村議会議員として、長年地方自治の振興発展に寄与した功績により、本議会より4名の議員が表彰を受けました。

#### 【全国町村議会議長会 自治功労者表彰】2名

令和5年2月8日  
町村議会議員として在職15年以上

#### 【宮城県町村議会議長会 自治功労者表彰】2名

令和5年2月21日  
町村議会議員として在職15年以上

佐藤 洋治 議員  
村上 登 議員

#### 【仙南地方町村議会議長会 自治功労者表彰】2名

令和5年2月3日  
町村議会議員として在職11年以上

遠藤 実 議員  
鈴木 保博 議員



# わたしの思い

## 智慧と技、さなぶり

佐久間 賢祐さん(小泉西町)

私が幼少の頃、日常の生活は四季折々の行事と旬の味に溢れていました。そうした生活の形は、連続と続く日常生活の生業の中から作り上げられたものでした。手作業による田仕事、畑仕事、山菜採り、薪割り風呂焚き、炭焼き、味噌、餅かけ、七味、麦あめ、漬物、どぶろく、藁ない、鎌とぎ、カゴ作り。山仕事に大工仕事、機械仕事、機械や道具の手入れ…。

こうした作業は多くの人手と時間がかかります。いつも家族が総出で、近所の人達のお手伝いで一杯でした。にぎやかな声と笑いにあふれていました。三代にわたって伝えられる、確かな生活の形、智慧と技に満ち溢れていました。そして何よりもいつも、おいしいものにあふれていました。

を復元する力(レジリエンス)を研究しています。東日本大震災の被災地をも調査し、レジリエンスとは「ソーシャル・キャピタル(社会関係資本・人間関係資本)」そのものであると結論づけています。

ソーシャル・キャピタルとは、信頼や絆、助け合い、人や組織のネットワークなど、人間関係の豊かさを社会の資本として捉えた概念です。

災害に強い地域社会の形成には、この資本の蓄積が何よりも必要となりますが、実は、私たちの郷土村田町の、かつてより豊かに存在した、生業が風土の中に満ちて、智慧と技、楽しみに溢れた生活の中にこそ存在しています。

さなぶりはねんでは、でがさねおん。おひたなしでねや。



(新畑三斗内薬師講祭)

## 次の定例会は6月13日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継にて配信しております。

村田町ホームページアドレス(下記)より  
<https://www.town.murata.miyagi.jp/>

コンテンツ「村田町議会」から「議会中継」へアクセスしてください。

本会議の日程については、町ホームページの「本会議開催予定表」で詳しくお知らせしています。

議会を傍聴しませんか。議会はどなたでも傍聴できます。

詳しくは議会事務局まで TEL 83-6410

## 編集後記

新年度予算が執行され、子育て支援の充実や町道の冠水対策、公共施設の耐震化などの事業に取り組み。特に農業振興地域の見直しや都市計画マスタープラン及び用途地域の見直しは、適切な土地利用の促進と用地の引き合いを活発化させる呼び水となり、魅力ある街づくりが期待される。

人口減少に歯止めをかけるために、多様な視点で地域の将来を考えるきっかけにしたい。

議会広報編集特別委員会

委員 太田 初美

発行・編集責任者

議長 遠藤 実

議会広報編集特別委員会

委員長 菊地 夫  
副委員長 大沼 隆  
委員 山家 大  
委員 鈴木 宏  
委員 鈴木 正  
委員 村上 信  
委員 吉野 明  
委員 太田 美  
委員 鈴木 保